

志木ロータリークラブ

2022-23年度 国際ロータリー 会長 ジェニファー・ジョーンズ 「イマジン ロータリー」
 2021-22年度 第2570地区 ガバナー 村田貴紀 「地域と世界でつながる力を磨き奉仕を実践しよう」
 2021-22年度 志木ロータリークラブ 会長 小林八郎 「新たな一歩」

第2351回 移動例会

2022-11-2

- ◎司会 三上 隆俊 副会長
- ◎点鐘 小林 八郎 会長
- ◎ソング 君が代・奉仕の理想
- ◎ソングリーダー 榎本 秀夫 副SAA
- ◎四つのテスト 榎本 秀夫 副SAA



「会長挨拶」

会長 小林八郎

「考えてみれば、心の複雑骨折を繰り返しながら、自然治癒力を身につけていくのが、人生というものかもしれない」最近、そんな言葉を新聞で知りました。これは、ダウンタウンの浜ちゃんがやっている俳句のテレビ番組でよく見かける俳人でエッセイストの夏井



いつきさんが書いたエッセイ集にある言葉だと読売新聞の編集手帳で読みました。

新型コロナの第7波が落ち着いたと思いきや、また第8波が来るかもしれないと言われていますが、私たちは体の免疫はもちろんのこと、心の免疫もより一層つけていかなければならない時代なのかなと思いました。

さて、先月27日から約1か月の「秋の読書月間」が始まりました。インターネット通販が盛んな今、皆さんは本をどうやって買いますか？ 若い方は、やはりアマゾン等のオンライン書店でしょうか？

新聞社による全国世論調査によると、何と本の買う場所の1位は本屋で、70%でした。2位はオンライン書店で26%、さらに本を買うきっかけとなったのもインターネットのブログを見てなどより、「書店の店頭で見て」が46%と最多でした。あまたある本の中から、実際に本の表紙を見たり、手にとったりしながら、心を豊かにしてくれるような本との出

会いは、実際に本が並んでいる書店なんだなと考えさせられました。皆さまも是非、本屋さんに足を運んで、素的な本との出会い、まさに本との一期一会を見つけていただければと思います。

話は変わりますが、前回の夜間例会で新会員の歓迎会をすることができ、私の今年度のテーマは「親睦と増強」とお伝えしました。増強について、近隣の親クラブで「会員増強フォーラム」が先月行われ、ロータリークラブの活動の原動力となる会員を増やし、新たな考えや視点を持ち、互いの魅力を高めている友、仲間を増やしていくことは急務の状況と発せられました。

また、第2570地区会員増強・IT推進委員会による会員数の推移によると、日本国内では、2019年度から減少傾向となっていたところ、2020-21年度では新型コロナウイルス感染拡大の影響から前年より2,000人前後の減少。

さらに第2570地区の会員数では、1994-95年度の2,838人が最大で、現在は1,580人とピーク時の56%になっている可能性があるといえます。

しかし、こういった傾向を嘆いていても何も生まれず、会員増共（共に増やす！）、会員増協（協力して増やす！）を合言葉に協力していくという旨が、フォーラムで共有されたと聞いております。

志木クラブにおいても、冒頭で申し上げた本との出会いのように、やはりリアルに会ってリアルに語り合うことは、親睦はもちろんですが、新たな出会いから増強へと実っていくのかなと切に感じています。

十杯のお茶より1杯のお酒と申します。コロナに気をつけながら、炉辺活動等もお願い申し上げます、会長の挨拶といたします。

「理事会報告」（11/2分） 会長 小林八郎

1. 地区出向者のクラブ分担金について

地区公式行事についてのクラブ分担金は一律3,000円に修正と地区主催ゴルフにおいては参加費を負担を追加する事を承認

2. 11月、12月の例会日程について

3. 年忘れ例会（夜間例会）について

11月は2日、16日に開催

12月は7日、21日に開催

4. クラブ協議会・年次総会の日程等について

クラブ協議会は11月16日、年次総会は12月21日の実施を承認

5. 入会予定者関係について

泉谷さんの体験入会を12月7日に設定

鈴木さんの入会推薦を承認

6. クラブの各種預金残高について

クラブの預金残高は確認のみを行った

7. その他

①志木市から要望があった親水公園の自立型の時計台については社会奉仕委員長と田中会員で協力して再見積もり、設置方法に再検討する（持ち越し案件）

②市之瀬次年度会長より

次年度役員候補の推薦があり承認

「幹事報告」

幹事 吉原 正



1. 日本事務局より世界ポリオイベントフォトコンテスト案内受信

2. 地区事務所より2022年度米山記念奨学委員会クリスマス会の案内受信

日時：12月4日(日) 16:30～19:00

出席は会員の義務です。メイクアップを忘れずに！

◇2351-2
志木RC会報

■和光RC

毎週(月) 12:30～13:30 郵便事業(株)和光支店3F

事務局 048-465-0088

■朝霞キャロットRC

第2第4(月) 19:00～20:00 スマイルホテル 3階ホール

事務局 048-470-6811

場所：アルカーサル迎賓館

3. 第2グループより3件受信

- ①22-23年度第3回会長幹事会議事録
- ②22-23年度第3回会長幹事会会計報告
- ③第4回会長幹事会開催案内

日時：11月10日(木) 18:00~19:30

場所：朝霞産業文化センター3階会議室

4. 志木市観光協会より令和4年度志木市観光協会会費納入について(ご依頼)受信

5. 志木市商工会より第15回志木市民まつり開催案内

日時：12月4日(日) 10:00~15:00

(小雨決行)

場所：いろは親水公園および志木市役所

10月27日に鯉清様で今年度初の親睦事業を行うことが出来、皆様のご協力があり、総勢35名の参加を頂き、会員から「楽しかった」「毎月やったら」などの声を頂きました。

お世話もあったと思いますが、事業が出来てほっとしています。次回は年忘れ例会を行えるよう準備して参ります。

皆様ご協力ありがとうございました。

「今月の誕生日祝」 親睦活動委員長 宮田泰彦



8日 小泉市朗会員 12日 宮原克平会員

「PHF 伝達」

会長 小林八郎



塩野章会員 高野邦夫会員 清水良介会員

「委員会報告」

●親睦活動委員会

委員長 宮田泰彦

親睦移動例会御礼



「ショートスピーチ」

「ロータリークラブで健康で幸せになる」

林 康雄 会員

人が「幸福」であると思うにはいくつかの条件があるかと思います。生活に困らない程度のお金、愛する家族、信頼できる友人、充実した仕事と趣味の時間など色々ありますが、何と言っても一番は「健康であること」だと



いう事に異論はないと思います。実は、ロータリークラブは「幸せで健康」であることに役立っているという科学的な報告があるのをご存知でしょうか。

2016年8月号の「ロータリーの友記事」に次のような記事があります。

ロータリークラブの例会は、「幸せのホルモン」と言われているオキシトシンの分泌を促す「人と人とのつながり」の場を提供し、さらに、免疫システムから分泌される不健康や鬱（うつ）と関係すると言われる炎症性タンパク質のサトカインのレベルを低下させることが分かっているそうです。実際にギャラップ社とヘルスウェイズ社による幸せ指数調査によると、ボランティア活動を行い、地域への貢献に対する評価を得ている人は全体的に幸せ度が高く、ほかの人よりストレスが少ないことが分かりました。オーストラリアのクイーンズランド大学の心理学者の研究結果によると複数の社交グループのメンバーであることにより自尊心が高まることが示されています。グループ内の人間関係だけでなく、グループの一員であるという認識によって目的意識、意義、所属感といった心理的メリットがあることがその要因とされているそうです。

ロータリーが「幸せで健康」であることに役立っていることを紹介させていただきました。是非、会員増強の際にもロータリアンになると「健康で幸せ」になりますよと勧誘してみてもどうでしょうか。

「卓話」

『会員満足度アンケート』調査結果報告

研修リーダー 林 康雄



会員満足度調査アンケートを実施させて頂きました。会員総数 41 中 33 名の方から回答を頂きました。回答率は、約 80%になります。急遽アンケート調査を実施したにもかかわらず調査にご協力いただき感謝申し上げます。

最初の質問は、1.「**会員であることに満足しているか**」です。「満足」「ある程度満足」との合計回答が 97%になっており、会員であることの満足度は高い数字です。

次に、2.「**クラブの会員、例会、雰囲気について**」の質問です。「例会は時間を費やす価値があると思うか」との質問に対しては、94%が、「そう思う」「ある程度そう思う」と高い率となっています。「新会員がすぐに打ち解けるように配慮しているか」については、肯定的な回答が過半数以上を占めていますが、「どちらともいえない」との回答が 21%あることがやや改善点があることを暗示しているかもしれません。「クラブは、地元地域の職業／人口構成を反映しているか」との質問に対する回答では、「どちらともいえない」から「そう思わない」との割合が 30%あり改善点があることを示しているのではないのでしょうか。「寄付・募金活動の量が適切かどうか」に対しては、66%が肯定的な回答ですが、「あまりそう思わない」との回答も 9%あります。「寄付・募金は 100 万円達成とか目標のようにすべき

でない」とのご意見の記述がありました。

3.「例会についての評価を問う質問」に対しては、例会の「長さ」「曜日と時間」「場所」に関する質問に対して7割から8割の回答が「非常によい」「よい」と回答していますが、「例会は月2回がよい」、「卓話の時間が短いので中途半端になりやすく感じる」「各卓話にテーマ（講演内容の意図）がないと何の話をしているのか分からない時がある」「例会場をベルセゾンに統一してほしい、事務局も事務所」との意見がありました。「職業のネットワークづくり」に対して「あまりよくない」「よくない」とする回答が計18%あり職業のネットワークづくりがある程度期待されていることがうかがわれました。

4.「クラブの奉仕プロジェクトについての問い」に対しては、「ちょうどよい」との回答が7割程度ありますが、社会奉仕プロジェクトについて「多すぎる」の回答が18%、国際奉仕プロジェクトについて「少なすぎる」の回答が27%ありました。奉仕プロジェクトの運営についての評価については52%が「よく運営されている」としています。奉仕プロジェクトに関する質問に対し、「とくに意見なし」との回答が多かったのは何を意味しているのでしょうか。奉仕プロジェクトへの参加意義は7割以上が肯定的です。奉仕プロジェクトについて「委員会によってバラつきある」との記述による意見がありました。

5.「クラブのコミュニケーションと対応についての質問」に対しては、「十分な連絡が行われているか」および「会員の声に十分耳をかたむけているか」との質問に対して80%以上が肯定的な回答となっています。「会員の意見やアイデア」の募集と「会員の意見アイデアに基づく運営」は、「どちらともいえない」「あまりそう思わない」との回答が40%弱ありました。「クラブの変化のスピードが適切かどうか」については、45%が「どちらともい

えない」としている。「変化が必ずしもクラブにとって良いとは言えない」との記述による意見がありました。

6.「会員であることの価値についての質問」について、「クラブで歓迎されていると感じる」回答が72%ですが、「どちらともいえない」とする回答が24%あることは気がかりです。クラブを通じての人脈づくりに関しては91%が肯定的な回答となりましたが、会員の才能やスキルを生かす機会については、「どちらともいえない」とする回答が45%ありました。ロータリーの会員としての経験に対し会費や時間をかける価値があるかとの問いに対しては、約90%が肯定的でした。家族や友人からのロータリアンであることの評価は友人からの評価がやや低くなっていました。ロータリーの地域への貢献は82%が肯定的な評価ですが、世界のための貢献度に関しては、やや低い数字となっていました。

7.「クラブへの参加を問う」質問で、家族、友人、同僚を誘うかとの問いに対してはやや否定的な回答が上回っていました。新入会員の勧誘については、やや積極的な回答が上回っており、個別意見で「これからはどんどん誘っていこうと思う」との記述がありました。クラブ活動やプログラムへの参加に関しては、72%が肯定的な回答でした。クラブを誇りに思うかとの問いには、81%が肯定的な回答でした。

8.「会員が払う費用に関する質問」に対しては、回答が無い方が18%ありました。質問用紙が両面印刷で最後のページであったため回答漏れがあったのかもしれませんが。クラブ会費に対しては、「ちょうどよい」とする回答が70%でした。例会の食費、ニコニコ、クラブ賦課金／特別会費、奉仕活動に求められる募金も60%から70%が「ちょうどよい」と回答されていましたが、「高すぎる」との回答も少数見られました。円安の影響があるの

かもしれませんが、ロータリー財団への寄付が「ちょうどよい」が58%、「高すぎる」が18%となっていました。記述の欄から「例会毎に寄付を募ることが多くそのための例会になっていないか」「ニコニコは必要ない」「スマイルの使途が限られているのに募金集めが熱心過ぎないか」との個別意見がありました。



●出席報告 出席向上副委員長 武藤典夫

会員数41名 出席義務者38名 免除者3名

本日出席	本日欠席	本日出席率
34名	7名	87.17%

前々回 MU	前々回修正出席率	平均出席率
(4名中0名)	93.00%	92.80%